

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

波除小	学校	児童数	92名
-----	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.78	19.73	37.20	36.12	39.75	9.60	135.39	23.78	50.77
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.03
女子	16.32	19.66	40.56	32.83	29.85	9.59	127.30	13.85	52.11
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点は男女共に全国及び大阪市平均よりも低い結果となった。

結果を分析すると、上半身に関わる項目に関しては全国平均よりも高い数値であるが、下半身の瞬発力や下半身から全身へ連動する動きに課題が見られた。

また、「1日における運動時間について」は週末に習い事を通してまとまって運動している児童が多く、1日平均は1時間未満の児童がほとんどである。その理由としてあげられているのが「運動する時間がない」「運動が好きではない。」「一緒に運動する友だちがない」という項目に数値が集中している結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

かけ足週間を冬に開催し体力の維持増進になるように取り組んだ。

開催時期に運動アンケートを実施すれば主体的に運動をしようとする項目が上昇すると考える。気温が上昇する時期に取り組めるストレッチや反復する動きを校内で取り入れて通年を通して運動に児童が関われるような取り組みを進める。

さらに、運動を通して友だち同士の結びつきが深くなるような授業改善も校内の組織を機能させながら取り組んでいく。